

図書館だより

●開館時間●
9:00～19:00
●8月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 休館日
- おはなし会
- ひろたのみんなのおはなし会
- ここにこほっぺのおはなし会

砥部町立図書館
☎(962)4400

新着紹介

『月の王』 馳 星周
『アルツ村』 南 杏子
『泣き虫先生』 ねじめ正一
『油絵は謎をささやく』 翔田 寛
『ハイドロサルファイトコンフ』 花村 萬月
『八月の母』 早見 和真
『六人の嘘つきな大学生』 浅倉 秋成
『折れない言葉』 五木 寛之
『医師が教える最強の問食術』 鈴木 幹啓
『二重らせんのスイッチ』 辻堂 ゆめ



『彼女が知らない隣人たち』
あさの あつこ
KADOKAWA 刊

地方都市で暮らす詠子は、パートとして働きながら家族とともに平凡な毎日を送っていた。だが連続爆発事件が発生し、今まで気にも留めなかった周囲の異変に気がついていく...



『ついでにジェントルメン』
柚木 麻子
文藝春秋 刊

菊池寛が他の男たちとちがうのは〇〇なところ…。なぜか微妙に社会と歯車の噛み合わない人々のもどかしさを、しなやかな筆致とユーモアで軽やかに飛び越えていく短編集。



『たとえ世界を敵に回しても』
志駕 晃
KADOKAWA 刊

おまえの息子は犯罪者だ。介護施設で働く葉子のもとに、怪文書が届く。5年前に家を飛び出した息子が「炎上系」の動画配信者だったこと、人の恨みを買っていたこと、そして数日前に姿を消したことを知り、葉子は…。

図書館他

楽しく！仲良く！健康に！ 山村留学センター

山村留学センター
☎(969)2310

「楽しく、仲良く、健康に」を留児児童の生活目標に掲げる町山村留学センターですが、育成方針として次の4つを掲げています。

- ①集団生活を通じて、協力し他人をいたわり思いやる心を育てる。
- ②自主性を尊重し、基本的な生活習慣の自立化を図る。
- ③四季を通じ、地域と密着した日常生活を送る。
- ④種々の体験活動を通じ、豊かな感性を育む。

山村留学事業は教育カリキュラムではありませんので、これらの育成方針を達成するためには、児童が留学生生活を過ごすことで、自身が経験を重ね感じてくれることが大切です。そのために、平日の広田小学校の体験活動に加えて、休日を中心にさまざまな体験活動をしています。

春には山菜採り、しいたけの植菌作業、夏には川に石で堰を築き、水遊びをしたり釣りをしたりします。夏休みをそれぞれの家庭で過ごし、秋になれば高市川で沢を登り、長曾池でキャンプをします。天候に恵まれれば西日本最高峰の石鎚山登山にも挑戦します。冬は



寒さの厳しい高市区ですが、子どもたちは雪が降れば我先に屋外に出ていきます。また、月に2回程度、「カレーの日」と題して屋外で昼食づくりをします。
一方で体験活動と同じくらい日々の集団生活を丁寧にこなすことも、子どもの成長に大切であると考えています。